

プログラム名 (40字以内)	農作物なんて自由自在??～植物工場で次世代の食糧生産を考える～		
団体名/所属	東京大学三四郎会		
活動区分	就労体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	1～4人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	特になし		
活動期間	2024/8月上旬～9月下旬の うち不連続な4日間程度	主な活動予定場所	東京大学生態調和農学機構(附属田無演習林)、株式会社プランテックス(東京都中央区、神奈川県川崎市)
プログラム実施の目的	<p>現在、日本は農業人口の減少・高齢化の真っ只中にあり、日本の農業の衰退が叫ばれて久しい。そんな中、天候に左右されず安定的に食料を供給することができる次世代の食糧生産手法として植物工場が注目を集めている。そんな植物工場だが、農学、生物学的な知識はもちろん最近話題のAI技術を用いた解析システムを始め非常に幅広い科学的知識の詰まった精密なテクノロジーでもある。そこで、本企画を通して近未来の食糧生産の在り方について考え、植物工場の可能性について想像を膨らませる。また科学的知識が実際に社会にどのように応用されているのか学ぶことを通じて、自らの進む分野について考えるきっかけとする。</p>		
具体的な内容(800字程度)	<p>①事前研修プログラム ・オリエンテーション(参加学生の顔合わせ、問題意識や目標の設定・共有)を行う。 ・他の東京大学三四郎会企画と合同でマナー/スキル研修を行う。</p> <p>②主な活動内容 【東京大学生態調和農学機構訪問】 生育環境が作物にどう影響するのか、植物工場の仕組みや課題などレクチャーいただき、基礎研究の最前線に触れる。また、生態調和農学機構にて保有されている簡易的な省エネ型植物工場の見学を行う。(1日)</p> <p>【株式会社プランテックスでの活動】 STEP1 プランテックスの植物成長管理システムについての詳細なレクチャー(対面) STEP2 現在植物工場の抱えている課題について自分なりの問題意識を設定した上で調査、企業の方と意見交換し、アイデアを出し合いながら解決策を練り、実際に技術開発を通じた解決策の実現にトライする。 STEP3 見学、レクチャー後にプランテックスの方と合同で学んだこと/植物工場について自分なりに考えたことについてプレゼンを行い、フィードバックをいただく。</p> <p>③事後プログラム 活動終了後に、他の東京大学三四郎会他企画参加者も含めたプレゼン報告会を行う。</p> <p>* 活動中の連絡はLINE又はメール(参加者の都合の良いように随時調節)を使用する予定です。</p>		
【総額】参加するための費用	交通費実費(都内移動、川崎市)		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	なし		
【内訳】参加するための費用(交通費)	実費		
【内訳】参加するための費用(その他)	0		
奨励金額(予定)	活動後に算出		
備考	<p>東京大学三四郎会は、「知の創造的摩擦プロジェクト」の共催や「ホームカミングデイ」への協力など、東京大学の活動にボランティアにかかわっている東京大学の若手卒業生によるネットワークである。構成員は約700人で、30代が中心となっている。三四郎会では2013年度より、企画実行のため組織された現役東大生による学生団体UTミライウオーカーとの協力のもと、インターン企画をミライウオーカープロジェクトとして実施している。(本企画は、このネットワークを通じ、主に東大卒業生が受け入れを担当する。)</p> <p>本プログラムは歴代の参加者によって運営が引き継がれており、参加者には次年度の企画運営を担っていただきます。参加者として植物工場を学ぶだけでなく、運営側として生態調和農学機構やプランテックス、三四郎会など、東大内外での多様なコミュニティとプログラム参加後も繋がりを持つことができます。</p> <p>東京大学生態調和農学機構河越研究室: http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/kawabata-lab/ 株式会社プランテックスHP: https://www.plantx.co.jp/ プランテックスの植物工場の動画: https://www.youtube.com/watch?v=vJB07Kir8RI</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	特になし		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://www.facebook.com/todaisanshiro		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		